

● 診療科の特色

腎疾患にかかわる分野全般の診療を行います。検診での検尿や腎機能異常の精査、慢性腎臓病の診断やステージに応じた治療、急性腎障害の診断治療、透析導入（血液透析、腹膜透析）などです。また各種疾患（糖尿病、膠原病など）における腎臓の合併症の診療にもあたります。さらには、慢性透析患者の当院各科入院治療中の透析治療を行っています。また腎移植治療の術前管理や術後の長期管理など参画しています。

なおリウマチ膠原病診療は令和 2 年度からはリウマチ科として診療を行っています。下記のリウマチ膠原病は、腎病変をともない腎臓内科で診療した症例です。

診療担当は常勤医師 3 名、専攻医 1 名(卒後 5 年目)、ローテートの専攻医(卒後 3 年目)と初期研修医です。

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数 年間入院患者数

| | 疾患 | 患者数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | 慢性腎臓病(非透析) | 67 |
| 2 | 慢性腎臓病(血液透析) | 49 |
| 3 | 慢性糸球体腎炎 | 22 |
| 4 | 糖尿病性腎臓病(血液透析) | 21 |
| 5 | 糖尿病性腎臓病(非透析) | 18 |
| 6 | ネフローゼ症候群 | 16 |
| 7 | リウマチ、膠原病 | 12 |
| 8 | 慢性腎臓病(腹膜透析) | 10 |
| 9 | 糖尿病性腎臓病(腹膜透析) | 9 |
| 10 | 急性腎障害 | 9 |
| | その他(腎疾患以外) | 27 |

死亡退院 9 例 : 敗血症性ショック 4 例、上部消化管出血 1 例、

急性心筋梗塞 1 例、急性呼吸不全 1 例、肝不全 1 例、うっ血性心不全 1 例

2. その他

1) 検査

a) 腎生検施行(当科施行件数)40 例(延べ数)

IgA 腎症 15 例、急性糸球体腎炎 2 例、微小変化型ネフローゼ症候群 3 例、巣状分節性糸球体硬化症 2 例、膜性腎症 2 例、膜性増殖性糸球体腎炎 1 例、ANCA 関連血管炎 3 例、顕微鏡的多発血管炎 1 例、多発血管炎性肉芽腫症 1 例、半月体形成性糸球体腎炎 2 例、糖尿病性糸球体硬化症 2 例、ファブリー病 1 例、悪性高血圧 1 例、骨髄腫腎 1 例、その他 3 例

b) 腎生検診断

成人の腎生検組織(腎臓内科・腎移植外科など)の評価を臨床検査科・当該科と共に行っている。

2) 治療(入院治療患者数:新規開始ないし再開、患者ベースの例数)

a) 慢性腎炎、ネフローゼ症候群、急速進行性糸球体腎炎、リウマチ膠原病

副腎皮質ステロイド 36 例、IgA 腎症扁桃腺摘出後ステロイドパルス 1 例、エンドキサン 25 例 (ANCA 関連疾患 5 名、その他 1 名)、リツキサン 7 例 (ネフローゼ症候群 2 名、急速進行性糸球体腎炎 1 名 (非 ANCA)、ANCA 関連疾患 4 名)

b) 慢性腎臓病 (CKD) 患者診療

外来では透析や移植に至っていないすべてのステージの CKD 患者、入院では主に CKD ステージ G4~G5 患者の評価・治療・療法選択などを行っている。

c) 血液透析

7A 透析室にて入院患者のみを対象。月水金、午前・午後、火木土午前の計 3 クール。コンソール 5 台。通常 15 名受入可能。1 クール定員 5 名で運用

令和 3 年度入院血液透析患者数 306 例 (2022/4/1 時点の入院を含む)、のべ透析回数 2479 回 (7A 透析センターにて。病室、CCU での血液透析は除く)。

(詳細は透析センターの頁をご参照ください)

d) 腹膜透析: 外来患者 29 名。(そのうち PD/HD 併用は 8 名)

外来患者は専門外来にて管理しています。

導入 8 名、離脱 4 名 (HD 変更、転医)

腹膜透析患者入院 38 名 (導入、内科・外科治療など)

e) 腎臓病教室: 令和 2 年度 1 回開催

新型コロナウイルス感染対策として縮小しての開催

f) リウマチ膠原病

血管炎症候群 12 名

3) 教育

a) 岡山大学臨床教授として、岡山大学医学部医学科の学生を受入れ指導。

令和 2-3 年度受け入れ 4 名 (新型コロナウイルス感染の影響)

令和 3-4 年度受け入れ 1 名 (令和 4 年度 3 名受け入れ予定)

b) 専攻医、初期研修医などの指導

c) 看護助産学校講師 (腎泌尿器解剖生理・病理: 12 コマ)

4) 研究・治験

a) 市販後調査全例報告

エベレンゾ、ダーブロック、バフセオ

b) 当科にて

稀な症例の報告、少数例の後ろ向き検討など

c) その他 (他施設の臨床研究)

Extant 研究、Inspire 研究 (岡山大学腎免疫内分泌代謝内科学)

DTN-CKD 研究 (岡山大学腎免疫内分泌代謝内科学)

岡山県の透析患者数と分布の推移に関する調査 (岡山大学・岡山県医師会)

ZAK-CKD 研究 (川崎医科大学腎臓高血圧内科)

チオプリン製剤服用中の患者の妊娠・出産の安全性・遺伝子多型研究 (東北大学病院消化器内科)

● 研究業績

論文

- 1) 太田 康介
浮腫は心腎肝甲と、薬剤と
岡山県医師会報, 第 1551 号, 367~368 2021 年 6 月 10 日
- 2) 尾関太一、藤原慶一、大西桐子、栗林忠弘、光宗翔、太田康介
致死的な肺胞出血を合併し、剖検にて血管炎が確認されたシェーグレン症候群の 1 例
日呼吸誌, 10 巻 4 号, 363~367 2021 年 8 月 1 日

講演

- 1) 太田 康介
最新の慢性腎臓病治療戦略
赤磐若手医師の会 2021 年 4 月 22 日
- 2) 太田 康介
リウマチ診療 update ~当院の取り組み、生活習慣病とのかかわり~
御津医師会学術講演会 2021 年 5 月 18 日
- 3) 北川 正史
心腎関連を考慮した貧血管理
御津医師会学術講演会 2021 年 6 月 25 日
- 4) 太田 康介
CKD 診療における高カリウム血症を再考する
Renal Online Seminar 2021 年 6 月 25 日
- 5) 北川 正史
アドヒアランスを考慮した CKD-MBD 管理
透析 WEB セミナー 2021 年 7 月 1 日
- 6) 太田 康介
高カリウム血症の最適なマネージメント
Kowa Web Conference 2021 年 7 月 9 日
- 7) 太田 康介
CKD に合併した貧血へのアプローチ
御津医師会学術講演会 2021 年 7 月 20 日
- 8) 太田 康介
「新しい生活様式」における CKD 病診連携
真庭医師会学術講演会 2021 年 7 月 29 日
- 9) 太田 康介
CKD における腎性貧血治療への期待
腎性貧血治療 Up to Date 2021 年 8 月 24 日
- 10) 北川 正史
腎移植後の CKD-MBD 管理について
第 32 回 岡山 CKD-MBD 研究会 2021 年 9 月 7 日
- 11) 太田 康介
慢性腎臓病診療と電解質異常~特に高齢者や糖尿病患者にて~
慢性腎臓病を考える in 東備 2021 年 9 月 16 日
- 12) 北川 正史
心腎保護のための貧血管理~深謀遠慮の腎臓診療を目指して~
美作医会学術講演会 2021 年 9 月 17 日

- 13) 太田 康介
地域医療連携の現状と慢性腎臓病
9月御津医師会学術講演会 2021年9月21日
- 14) 太田 康介
日常診療における高血圧治療～変わってきたこと、変わらないこと～
ARNI 高血圧 Web Symposium 2021年10月6日
- 15) 太田 康介
免疫チェックポイント阻害剤と腎障害～自験と文献検討～
第62回 倉敷 ren 楽会 2021年10月9日
- 16) 太田 康介
当院における糖尿病性腎臓病への取り組み
御津医師会学術講演会 2021年11月5日
- 17) 北川 正史
腎内からみる心腎関連
Kowa Web カンファレンス 2021年11月16日
- 18) 太田 康介
腎性貧血の治療～臨床現場におけるダーブロックへの期待～
ダーブロック Web セミナー 2021年11月29日
- 19) 太田 康介
エベレンゾの最適な使用法は？
腎性貧血学術講演会～HIF-PH 阻害薬を再考する～ 2021年12月6日
- 20) 太田 康介
総合討論
第30回 糖尿病性腎症セミナー 2022年2月8日
- 21) 太田 康介
非透析期の腎性貧血を診る
中国山陽地方「ダーブロック錠」Web セミナー～新たな腎性貧血治療の変遷～ 2022年2月10日
- 22) 太田 康介
Case で考える SGLT2 阻害薬の効果
CKD joint Meeting in OKAYAMA 2022年3月22日

学会

- 1) 中納 弘幸
特発性血小板減少性紫斑病の経過中にネフローゼ症候群を呈し糸球体内皮下に著明な免疫複合体の沈着を認めた一例
第80回 岡山腎疾患懇話会 2021年4月3日
- 2) 渡邊 慶太
心機能低下を呈した常染色体優性多発嚢胞腎の1例
第124回 日本内科学会中国地方会 2021年6月20日
- 3) 木田 貴弘
悪性高血圧にて透析導入され生体腎移植後に巣状分節性糸球体硬化症を発症した一例
第81回 岡山腎疾患懇話会 2021年10月2日
- 4) 田中 慎太郎
微小変化型ネフローゼ症候群を合併した進行大腸癌の一例
第51回 日本腎臓学会西部学術大会 2021年10月15日
- 5) 安藤 翼
微小変化型ネフローゼ症候群合併原発性マクログロブリン血症に対して化学療法が奏功した一例
第51回 日本腎臓学会西部学術大会 2021年10月15日

- 6) 橋本 千明
 間質性肺炎に抗 ARS 抗体陽性の ANCA 関連血管炎を発症した一例
 第 125 回 日本内科学会中国地方会 2021 年 11 月 6 日
- 7) 木田 貴弘
 悪性高血圧にて末期腎不全となり生体腎移植後に巣状分節性糸球体硬化症を発症した一例
 第 125 回 日本内科学会中国地方会 2021 年 11 月 16 日
- 8) 藤本 倫代
 大腸癌に微小変化型ネフローゼ症候群を合併した 2 例
 第 125 回 日本内科学会中国地方会 2021 年 11 月 16 日
- 9) 中納 弘幸
 COVID-19 を呈した腹膜透析患者に対してファビピラビルとレムデシビルを使用した一例
 第 30 回 中国腎不全研究会学術集会 2021 年 12 月 5 日

座長

- 1) 第 80 回 岡山腎疾患懇話会 2021 年 4 月 3 日
 セッション2
 太田 康介
- 2) 御津医師会学術講演会 2021 年 4 月 20 日
 高尿酸血症に関する最新の話
 太田 康介
- 3) 第 46 回 岡山生活習慣病懇話会 2021 年 10 月 26 日
 岡山県における高血圧診療の実態
 太田 康介
- 4) Kowa Web カンファレンス 2021 年 11 月 16 日
 太田 康介
- 5) 中四国 CKD & PD フォーラム 2021 2022 年 2 月 12 日
 閉鎖孔ヘルニア根治術後に腹膜透析に復活できた一例
 太田 康介
- 6) 第 12 回 日本腎臓リハビリテーション学会学術集会 2022 年 3 月 26 日
 これから腎臓リハビリテーションを始めるのに必要なこと
 太田 康介